

釧路南ロータリークラブ会報

第19回 例会報告 2010.11.19 通算1373回

・点

鐘

木内会長

・会 長 挨 拶

・ロ - タ リ - ソ ン グ

「それこそロータリー」



ソングリーダー 福井 克美会員



会員の皆様こんにちは、先週の家庭集会発表はA、Bグループで発表をして頂きましたが、色々な問題点が指摘されましたが、これからのクラブ運営に役に立つことなので、少しずつ問題を解消するよう、会員一人一人の役割を果たせば必ず解決できると思っております。私がクラブに入会した時に、先輩からロータリーにはNOがないと教わったことを現在も自分なりに実践していると思っております。また、先輩は後輩の面倒を見ることは学生時代、皆さんも経験していると思いますが、会社組織もロータリーも先輩が後輩を色々な面で応援してあげることで、双方の信頼関係が今以上に良くなると思っておりますので、先輩のロータリアンはよろしく願います。今日例会終了後、11月の理事会が行われます。家庭集会でもお話した、新晋州RCとの友好クラブ締結についての文書を理事会で最終決定することになっております。会員の中でご意見等がありましたら、理事会にてお話して下さい。今日も少し雑学のお話をしたいと思います。今日は11月19日ですが、1969年11月19日にアポロ12号が月に人類3、4人目となる着陸をした日です。チャールズ・コンラッドとアラン・ビーンが嵐の大洋に着陸しました。1961年から1972年の間に6回、月に着陸に成功しました。ニール・アームストロングとエドウィン・オル

・誕 生 祝

伊東 良孝会員 S 23. 11. 24 (62歳)

・結 婚 祝

安藤 整治会員 S 50. 11. 19 (35年目)

花田 善廣会員 S 59. 11. 24 (26年目)



花田会員

ドリンの二人がアポロ 11 号で、人類で初めての月面着陸を成し遂げました。また、先日の新聞でイトカワ(小惑星)に小惑星探査機はやぶさを着陸させ、イトカワの地表の微粒子を持ち帰り、成分分析を日本の大学で行うそうです。

現在の分析では地球にある物質とは異なる物が発見され、地球の誕生が解明されるかもしれません。

以上、雑学の会長挨拶でした。

・幹事報告



- * 2011 年国際ロータリー年次大会ニューオリンズ大会参加旅行のご案内が届いております。
- * 12 月のロータリーレートは 1 ドル 82 円となっております。
- * 合同事務所の三浦さんが所属する吹奏楽団の定期演奏会のご案内が来ております。会員の皆様によりしくお願いしますと言っておりました。
- * FAXでも流しましたが、今日例会終了後、理事・役員会がありますので理事、役員の方はお残り下さい。

・委員会報告

親睦委員会

- ・本日のニコニコ献金

伊東 良孝会員	誕生祝として
安藤 整治会員	結婚祝として
花田 善廣会員	結婚祝として
菅井 紀之会員	引越しました。

出席委員会

会員 25 名 11 名出席 出席率 44%

・本日のプログラム

「ロータリー財団月間に因んで」

担当 ロータリー財団米山委員会

■花田善廣ロータリー財団米山委員長



財団月間に因んで財団についてお話をさせていただきます。

11 月のガバナー月信で「変化するロータリー財団」と題したレポートが、2500 地区、ロータリー財団副委員長の笹谷先生が寄稿を寄せていますのでそれを抜粋してお話致します。

(笹谷先生にはこのレポートに基づいて、南 RC の例会で話をさせて頂きたいと言いました処、中標津 RC も今週の例会でこれを話すと言われました。)

《笹谷レポート》

「ロータリーを理解する上で難解なものがふたつあると言われています。ひとつは「職業奉仕」でありもうひとつは「ロータリー財団 (TRF)」です。そしてまたこのテーマを語れるロータリアンがそう多くないのも事実です。「職業奉仕」はロータリー 100 年の歴史を語る上で金看板ともいえる独特の奉仕概念ですがロータリー財団は同様に 100 年近くの歴史を持つ奉仕の実践部門です。

TRF は 1917 年アーチ・クランプがアトランタの国際大会で「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕分野でより良き事をするために基金をつくらう」と提案したのが始まりです。

その後ポール・ハリスの逝去を悼み沢山の浄財がTRFに寄せられ、それ以降TRFの存在が改めて見直され毎年多くの寄付が寄せられるようになりました。これらの資金を使って始められた事業はまず奨学生制度です。

現JICA理事長の緒方貞子さん（元国連難民高等弁務官）が東京RCの推薦で日本から2人目の奨学生として派遣されました。寄付される金額が多くなり始めた時、アーチ・クランフが述べた標語「世界でなにかよいことをしよう」の素朴な発想の原点の一つでもあった慈善・社会奉仕分野への補助金拡充制度の拡充がありました。マッチング・グラント、をはじめとして人道的分野での様々なプログラムが研究・開発されました。

その中のひとつに「3-H（保健、飢餓追放及び人間尊重：Health, Hunger, and Humanity Grants）」補助金があります。そのなかのひとつで極めて驚くべき成果があがったのが「ポリオのワクチン投与」でした。1979年にフィリピンでMGとして実施したポリオワクチン投与事業はRI75周年基金から3-H補助金の最初のプロジェクトとして採用され、1985年には世界中の子供たちにポリオの予防接種をしようという「ポリオ・プラス・プログラム」が設けられ、現在は第3次のポリオ・プラス募金のキャンペーン中です。

寄付される金額が増え、募金の種類も多様なものとなり、世界中のロータリアンから寄せられた要望も多種多様なプログラムになり、特に人道的分野のプログラムは元々ベーシックな財団プログラムであったGSE、国際親善奨学生等の教育的分野のプログラムを上回り、現在はMGがポリオを除けば金額的にはTRF最大のプログラムになりました。

世界各地のロータリークラブから寄せられる多様な財団プログラムへのニーズに対応しようとしたのがまさしく「未来の夢計画」であり肥大化しすぎた財団組織を簡略化しようとする試みでもあります。それはいまだかつてないほどにTRFを変革するものですが、一方で財団資金を使う際に自己責

任が大きく求められます。補助金と言う名の資金の地区への委譲とともに地区の管理責任は飛躍的に増大します。現在3年間の試験期間中であり、2012年7月からは全世界のロータリークラブ、地区で実施される予定です。2010～11年度から3年間、新補助金制度を試行する地区をパイロット地区と言い、世界で100地区がパイロット地区に選ばれました。

（以上 笹谷レポート）

2500地区も2008年に、ロータリー財団、世界社会奉仕合同委員会でパイロット地区に名乗りを上げることが報告されていましたが、パイロット地区の選考に至りませんでした。2009年の合同委員会ではノンパイロット地区としてのこれからの対応が話し合われました。

笹谷レポート曰く「試験期間の3年間にどれだけのノウハウを蓄積できるかが問われています」

パイロット地区

日本では 第1ゾーン（北海道、東北、北関東…）

第2830地区：青森、第2770地区：埼玉南東

第2ゾーン（関東、中部、北陸…）

第2580地区：神奈川、第2760地区：愛知

第3ゾーン（関西、四国、九州…）

第2650地区：福井、滋賀、

第2690地区：岡山、鳥取、島根

因みに、タイ第3330地区はパイロット地区に選ばれました。故に「未来の夢計画」が実施される2013～14年度までは、当地区ではMGプログラムは実施できません。



・次回のプログラム

11月26日（金）

「クラブフォーラム」 夜間移動例会

会場 まいづる

担当：クラブ管理委員会

・点 鐘 木内会長

今週の会報担当：長江勉会員